



南城市立大里北小学校 学校だより

あまごい森

令和8年9月4日(金)

文責 校長 國仲 貴光

【学校教育目標】・よりよく考え 進んで学習する子 ・心豊かで 思いやりのある子 ・体をきたえ 最後までやりぬく子 第5号

44日間の長い夏休みが終わり今週から二学期がスタートしています。夏休みの宿題等を抱えて登校する子どもたちの表情は様々でしたが、久しぶりに担任や級友と顔を合わせ、夏休みの思い出を共有しながら新学期への期待を膨らませている様子でした。登校初日は短い日課でしたが、その後からは通常日課となり、普段通りの学校生活が戻っています。残暑が厳しい中、お子様が万全の体調で学校生活を送れるよう、ご家庭での生活リズムを整え、日々の体調管理をお願いいたします。

今学期も、職員一同、『元気に登校、笑顔で下校』をスローガンに学校教育の充実に努めてまいります。引き続き、保護者の皆様のご支援・ご協力を宜しくをお願いいたします。



***** 二学期始業式 校長講話 ～安心できる学級・学校をつくろう～ *****

始業式の校長講話では、二学期スタートにあたり、年度初めに確認した『安心できる学級づくりのためにがんばること』を思い出してもらう機会としました。以下、児童に伝えた内容です。

- ◆大里北小すべての学級が「安心して過ごせる学級」「安心してお勉強できる学級」になってほしい。
- ◆学級の一人一人が「このメンバーでよかった」「一緒にお勉強して楽しい」と感じてほしい。
- ◆そのために「大北っ子」一人一人に頑張ってもらいたいこと。

- ①自分がされて嫌だと思ふことを人にしない。(嫌な時は「やめて」と伝えよう)
- ②フワフワ言葉をたくさん使う。(もらったフワフワ言葉を周りにも広げよう)
- ③やさしいお顔であいさつを交わす。(あなたもやさしいお顔であいさつを返してみよう)
- ④おりあいの魔法を上手に使う。(話し合いでお互いの真ん中を探してみよう)

- ◆安心して過ごせないときは.... いつでも近くの先生に声をかけて。安心して過ごせるように一緒に考えよう。



***** ケガをふせごう!～ みんなであんぜんな学校生活を ～ *****



やくそく2: うわばきを ただしく はこう

くつしただけ
あるくと あぶない。

かかとを ふますに
はきます。



始業式の後は「ケガを防ごう!」をテーマに養護教諭が保健指導を行いました。一学期の保健室への来室は**470件**。その主な理由となっているケガの原因、それを防ぐための安全な過ごし方、小さな傷や鼻血の際に自分でできる手当の方法などについて伝えています。

安全な過ごし方の一つに「きちんと上履きを履く」という内容がありました。二学期初めの登校でも複数の児童がかかとを踏んだまま正門を通りすぎるなど、外履きでも同じ様子が見られます。上履きの準備もあわせてご家庭でのお声かけもよろしくお願いします。



けがを してしまったら?
じぶんで できる てあて



※こまったら、すぐに保健室(ほけんしつ)へ行くよう!

***** 児童会イベント 小人さがしに奮闘 *****

7月号で準備段階の様子を紹介した児童会イベント『**学校にかくれた大北こびとを探せ!!**』が一学期末に予定通り実施されました。子どもたちは校舎内の様々な場所に隠れている小人をゲットするため、我先にと搜索して回り、計123人の小人を見つけ出しました。発見者から企画委員に届けられた小人は手作りプレゼントと交換され、イベントへの参加に満足げな子どもたちでした。二学期は子どもたちからどんな企画が飛び出すのか、今後を楽しみにしたいと思います。



***** 力作がずらり 校内作品展示 *****

夏休みに作成した作品が、各教室や廊下で展示されています。工作、図画、書道など、どの作品も子どもたちの個性が光る力作ぞろい。夏休みにしかできない体験や、時間をかけてじっくりと取り組んだ努力の跡が感じられます。自由研究(科学作品)については、今年も西銘宣正さん(元中学理科教諭:嶺井区)から個別に講評をいただくことができます。ご家庭に未提出の作品があれば早めの提出をお願いします。

